

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	選択
2 放射線生物学 I	研究センターでの高度専門教育の経験を踏まえ、放射線の生物作用を概説する。	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 兵藤 文紀	1	後期	2 単位	必修
3 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
4 病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修
5 生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究結果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	川上 文貴	市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 川島 麗 ※ 前川 達則	2	後期	2 単位	必修
6 応用数学 I	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修
7 医用工学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
8 医用工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美 ※ 有阪 直哉 ※ 小菅 智裕 ※	2	後期	1 単位	必修
9 臨床医療学 I	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釧持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
10 放射線臨床病態薬理学	病院等での実務経験を踏まえ、放射線検査における種々の薬剤の薬理効果を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 小島 史章 ※ 佐々木 徹 ※	2	前期	1 単位	必修
11 臨床医療学 II	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 北村 律 ※ 望月 純子 ※ 松本 和将 ※ 塩見 和 ※ 石井 大輔 ※ 岩瀬 大 ※ 恩田 貴志 ※	2	後期	1 単位	選択
12 臨床医療学 III	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	選択
13 情報処理工学	病院での臨床経験を踏まえ、デジタル信号処理を学ぶ意義及び実際の臨床現場でデジタル信号処理がどのように展開されるのかを概説する。	守田 憲崇	守田 憲崇 ※	2	後期	1 単位	選択
14 診療技術英語	病院での臨床経験を踏まえ、診療放射線技師検査に必要な基本的英語を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
15 放射線生物学Ⅱ	研究センターでの高度専門教育の経験を踏まえ、放射線の生物作用を概説する。	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 畑下 昌範 ※	2	前期	1 単位	必修
16 放射化学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射性同位元素の取扱い・応用を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※	2	前期	2 単位	必修
17 画像解剖学	病院での臨床経験を踏まえ、放射線検査画像の基礎知識を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※	2	前期	2 単位	必修
18 診療画像技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、X線単純撮影法の基礎知識を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	2	前期	2 単位	必修
19 診療画像技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、X線造影撮影法の基礎知識を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	2	後期	2 単位	必修
20 画像診断機器工学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像診断機器の基礎知識を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	2	後期	2 単位	必修
21 核医学技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、核医学検査装置の基礎知識を概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	後期	2 単位	必修
22 放射線治療技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療装置の基礎知識を概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※	2	後期	2 単位	必修
23 画像工学	病院での臨床経験を踏まえ、医用画像の評価法及び画像処理技術を概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	前期	2 単位	必修
24 画像情報学	病院での臨床経験を踏まえ、医用画像を扱う上で必須となるフーリエ変換について概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	後期	1 単位	必修
25 放射線管理学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射線の管理技術及び安全取扱法を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 鍵谷 豪 ※	2	前期	2 単位	必修
26 放射線管理学・計測学実習	臨床経験及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射線の管理技術及び安全取扱法の実習を行う。	村石 浩	村石 浩 長谷川智之 鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹 ※ THET THET LWIN ※	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
27 臨床実習 I	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像、MRI画像の撮影(像)法、画像評価法及び被ばく線量評価についての実習を行う。	水上 慎也	水上 慎也 ※ 五味 勉 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 新任教員	2	後期	1 単位	必修
28 放射化学演習	病院及び研究所での臨床及び放射線安全管理の経験を踏まえて、放射線取扱主任者試験の重要事項を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 長谷川 智之 ※ 鍵谷 豪 ※ 橋本 成世 ※	2	後期	1 単位	選択
29 医用放射線計測学	病院での臨床経験を踏まえ、医療における放射線計測の基礎知識を概説する。	橋本 成世	橋本 成世 ※ 村石 浩	3	前期	1 単位	必修
30 診療画像技術学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、CT検査、超音波、眼底検査の基本原則、撮像技術及び画像解剖を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 半田 知也 ※ 宇治橋 善勝 ※ 埜 宏典 ※	3	前期	2 単位	必修
31 診療画像技術学Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、MRI検査の基本原則、撮像技術及び画像解剖を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	3	前期	2 単位	必修
32 画像診断機器工学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、最新の画像診断機器の撮像原理、動作特性及び画像の特徴を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	3	前期	1 単位	必修
33 画像診断機器工学実習	病院での臨床経験を踏まえ、画像診断機器の性能評価、動作特性及び精度管理について実習を行う。	原 秀剛	原 秀剛 ※ 長谷川 智之 ※ 村石 浩 ※ 坂口 和也 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 渡邊 あゆみ ※	3	前期	1 単位	必修
34 核医学技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、核医学検査の目的、用いる放射性医薬品とその集積原理及び臨床的意義を臓器ごとに概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	3	前期	2 単位	必修
35 核医学技術学・放射化学実習	病院及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、核医学検査でのデータ収集法、装置の本質管理、線量評価について実習を行う。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 橋本 成世 ※ 菊池 敬 ※	3	前期	1 単位	必修
36 放射線腫瘍学	病院での臨床経験を踏まえ、各疾患における放射線治療法や治療に伴う有害事象とその予防と対策について概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※ 早川 和重 ※ 石山 博條 ※ 早田 格 ※ 関口 茜衣 ※ 川上 正悟 ※ 早川 豊和 ※ 福田 龍司 ※	3	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
37 放射線治療技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療技術の臨床現場への応用を概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※ 稲田 龍司 ※	3	前期	2 単位	必修
38 放射線治療技術学実習	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療計画装置を使用して代表的な疾患に対する治療計画策定について実習を行う。	渡邊 祐介	渡邊 祐介 ※ 下野 哲範 ※ 村石 浩 ※ 水上 慎也 ※ 橋本 成世 ※ 新任教員	3	前期	1 単位	必修
39 医療情報工学	研究センター等での高度専門教育の経験を踏まえ、医療情報工学に関わる診療放射線技師国家試験問題を概説する。	村石 浩	村石 浩 ※ 坂口 和也 ※ 橋本 成世 ※	3	前期	2 単位	必修
40 医用画像処理Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、画像処理の原理及び応用技術について臨床画像を提示し概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※ 下野 哲範 ※ 水上 慎也 ※ 新任教員	3	前期	1 単位	必修
41 放射線関係法規	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに安全管理の経験を踏まえて、放射線業務を遂行する上で必要な関係法規を概説	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹 ※	3	前期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前 後 期	単位数	必修・ 選択等
42 臨床実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像、MRI画像及び超音波画像の撮影(像)法についての実習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 坂口 和也 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 小林 剛 ※	3	前期	1 単位	必修
43 臨床実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床病院の診療放射線技師と共に医療現場に必要な責任及び業務の範囲を実習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 上原 憲二 ※ 菊池 敬真 ※ 相澤 公二 ※ 神宮司 浩一 ※ 田上 公紀 ※ 此川 武晴 ※ 坂本 尊宣 ※ 徳重 宏典 ※ 塙 博文 ※ 秦 紀子 ※ 蔭山 武士 ※ 常木 龍司 ※ 稲田 勝巳 ※ 久保田 隆生 ※ 岩崎 健次 ※ 峯 規容 ※ 中嶋 あゆみ ※ 渡邊 裕介 ※ 大関 和憲 ※ 永原 義弘 ※ 洲崎 勉 ※ 上野 修一 ※ 岩崎 雅巳 ※ 岩田 剛 ※ 小林 正弓 ※ 田口 進 ※ 飯野 哲也 ※ 坂本 健 ※ 小泉 隆幸 ※ 小林 蔵人 ※ 安富 敏司 ※ 鈴木 秀憲 ※ 松村 千都 ※ 秦 禎人 ※ 田中 将志 ※ 関 秀記 ※ 伊熊 正太郎 ※ 小見 比呂樹 ※ 宮武 太郎 ※ 高松 太郎 ※	3	通年	8 単位	必修
44 医療安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療現場に必要な医療安全管理の考え方、危機管理対策及び感染管理について概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 水上 慎也 ※ 藤木 くに子 ※ 神宮司 公二 ※ 菊池 敬 ※ 川又 郁夫 ※	3	前期	1 単位	必修
45 診療画像科学	病院での臨床経験を踏まえ、MRI検査と核医学検査における基礎から臨床応用を概説する。	水上 慎也	水上 慎也 ※	3	前期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
46 放射線治療物理学	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療における加速器の原理や物理量と放射線の性質を概説する。	橋本 成世	渡邊 祐介 ※ 橋本 成世 ※ 石上 稔 ※	3	前期	1 単位	選択
47 放射線管理学演習	病院及び研究所での臨床及び放射線安全管理の経験を踏まえ、放射線取扱主任者試験の重要事項を概説する。	橋本 成世	橋本 成世 ※ 佐々木 徹 ※	3	前期	1 単位	選択
48 核医学・画像診断学	病院での臨床経験を踏まえ、全身の疾患に関する臨床画像診断を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ ウッドハムス 玲子 ※ 原留 弘樹 ※ 禹 潤 ※	4	前期	4 単位	必修
49 診療放射線技術科学総合演習	病院や研究所での実務経験を踏まえ、診療放射線技師国家試験に関わる項目の演習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 長谷川 智之 ※ 下野 哲範 ※ 稲岡 秀検 ※ 佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 橋本 成世 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※	4	通年	7 単位	必修
50 卒業研究	病院での臨床経験を踏まえ、4年間で学ぶ知識や技術に応じた研究テーマを与える。研究をまとめて口頭発表及び論文作成ができるための指導を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 長谷川 智之 ※ 下野 哲範 ※ 佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 橋本 成世 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	必修
51 放射線科学特論	病院での臨床経験を踏まえ、医学物理学分野の実践的技術、研究トピックス及び最近の動向を概説する。	長谷川 智之	長谷川 智之 ※ 橋本 成世 ※ 石上 稔 ※ 佐々木 節 ※ 永江 知文 ※ 橘 英伸 ※ 花田 剛士 ※	4	前期	1 単位	選択
52 診療画像技術学特論	病院での臨床経験を踏まえ、DR、CT、MRI、IGRT等の技術を用いた最新の画像技術、放射線治療技術の最前線に関して学び、将来動向を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 小林 隆幸 ※	4	前期	1 単位	選択

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
53 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
54 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※※ 太田 悦朗 ※※ 中村 正樹 ※※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
55 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように生かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
56 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
57 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
58 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
59 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
60 生体信号計測概論	企業での機器開発経験をふまえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						110 単位	